

2022年度登録アーティスト (50音順)



●北尾巨 (きたお・わたる)
幼少期よりミュージカルを中心に舞台芸術に携わり、クラシックバレエからストリートダンスまで多様なジャンルを経験。2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げ、全作品の振付・構成・演出を担う。振付家として、舞台作品のほか、TVドラマ、CM、映画へ多数振付。ダンサー・俳優として多くの作品に出演。WS講師やアウトリーチ活動を全国で展開。急な坂スタジオサポートアーティスト。尚美学園大学、桜美林大学非常勤講師。横浜ダンスコレクション2018コンペティションI「ベストダンサー賞」、ハッピー賞(ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞)「OUTSTANDING PERFORMER部門」(2020年)ノミネートほか、多数受賞。



●田村一行 (たむら・いっこう)
舞踏家・振付家・俳優。東京都出身。1998年大駱駝艦入艦、鷹赤児に師事。以降、大駱駝艦全作品に出演。2002年、『雑踏のリベルタン』を発表。同作品により第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。2008年、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。2011年より(一財)地域創造(公共ホール現代ダンス活性化事業)登録アーティストとして、地域の文化や風土を題材とした作品の創作にも意欲的に挑み、独自の作品を発表し続けている。
<http://www.dairakudakan.com>



●長井里奈 (ながい・えりな)
舞台芸術集団「山猫団」主宰・演出家。「伊藤キム+輝く未来」、「まことクラブ」にてダンサーとして国内外の様々な劇場のみならず、ライブハウス、商店街、美術館、廃墟などありとあらゆる場所でパフォーマンスをしてきた経験を生かし、ソロアーティストとしても活動中。ダンスを通して誰もがお互いの個性と自由を認められるコミュニティを作りたいことを目標に、日本各地で公演活動とワークショップを行う。愛鳥のセキセイインコと遊ぶのが日々の癒し。



●中村容 (なかむら・よう)
早稲田大学在学時コンテンポラリーダンスを始める。小野寺修二、近藤良平、室伏鴻の振付作品に出演。アシスタントを務めた後、ルーマニア・シビウ国際演劇祭、東アジア文化都市式典(韓国光州・横浜)など国内外で自身の作品を上演。オペラやMVの振付も担当。メインフランケン劇場製作オペラ『NIXON IN CHINA』(演出:菅尾友)はバイエルン放送が選ぶ年間ベストプロダクション10に選出。(歌謡曲スイッチ)と題し、歌詞に登場する人物になり切って踊るダンスワークショップを各地で展開中。横浜ダンスコレクションEX審査員賞・シビウ国際演劇祭賞(2013)・第5回エルスール財団コンテンポラリーダンス部門新人賞(2016)など受賞。



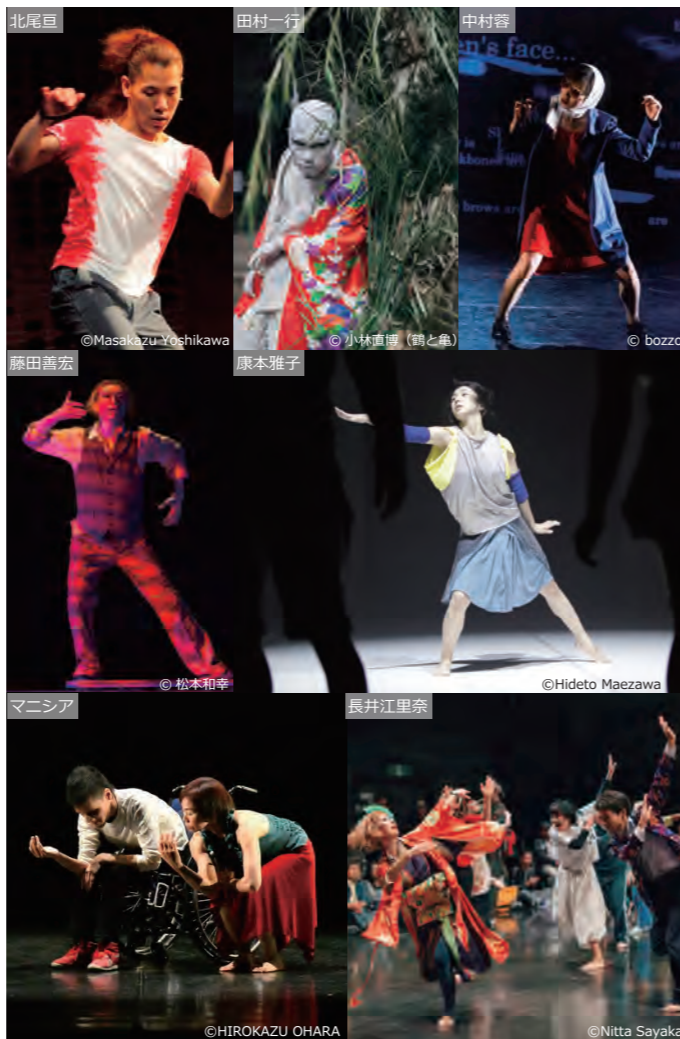
●藤田善宏 (ふじた・よしひろ)
振付家・演出家・ダンサー・デザイナー。ダンスカンパニー CAT-A-TAC (キャットアタック) 主宰。コンドルズメンバー。第72回文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。福井しあわせ元気国体開会式典演技振付総合監修。群馬大学非常勤講師。三世間で楽しめるダンス劇や児童演劇作品、石見神楽などの伝統芸能とのコラボ、幼児教育教材監修などを手掛ける。ダンス・演劇・ミュージカルなど様々な舞台への振付・ステージング・出演やNHK教育番組の振付・出演他、MV、CM、舞台作品、振付出演多数。障がい者対象のWSなど多様性を重視した活動にも力をいれる。



●マニシア
「ワレワレワークス」代表/コミュニティダンスアーティスト・ダンスムーブメントセラピスト・ダンサー。長期におけるNYを拠点とした活動後、福岡で多国籍、多世代の参加者約100名とアジアの路上生活の子どものための救済チャリティー公演を13年間開催。その後、障害のある人々とプロダンサーたちとのダンスグループ、ワレワレワークスを結成。難病の子ども、パーキンソン病の方、DV被害者、不登校生、少年院のティーンを対象としたWSや作品のクリエイションなどに挑戦しながら、あらゆる場所にダンスの種を蒔き続けている。コロナ禍の現在、移民問題で出生届けを出されていないマレーシアの子どものためにオンラインでWSを継続中。



●康本雅子 (やすもと・まさこ)
ダンサー・振付家。大人になってから独学でダンスを始め、自身の作品を国内外で発表するほか、松尾スズキや白井晃の演劇作品や映像、広告の振付など多岐に渡るジャンルにて活動している。特に、音楽家とのコラボレーションは好きすぎて多数行っている。また、東京造形大学デザイン学科の非常勤講師、静岡音楽館AOIでダンス講師を務めたり、NHK「ようこそ先輩」に出演したりと、コンテンポラリーダンスの普及に努めている。近年は小・中学校でのダンスWSや作品創作も多数行っており、親子向けに性教育のための身体WSも始動。2児の母。



令和3(2021)年度事業日程(予定) 日程・主会場・アーティスト

A プログラム (地域交流プログラム)		
11.3 ~ 11.6	岐阜市文化センター (岐阜県岐阜市)	長井里奈
11.17 ~ 11.20	北九州芸術劇場 (福岡県北九州市)	藤田善宏
1.20 ~ 1.23	フェニーチェ堺 (大阪府堺市)	マニシア
1.27 ~ 1.30	あすとホール (大阪府泉大津市)	康本雅子
2.2 ~ 2.5	茅ヶ崎市市民文化会館 (神奈川県茅ヶ崎市)	藤田善宏

B プログラム (市民参加作品創作プログラム)		
①7.9 ~ 7.11 ②11.16 ~ 11.21	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT (愛知県豊橋市)	田村一行
①12.2 ~ 12.5 ②1.12 ~ 1.16	白河文化交流館コミネス (福島県白河市)	康本雅子

C プログラム (公演プログラム)		
7.1 ~ 7.4	アイム・ユニバース てだこホール (沖縄県浦添市)	北尾巨
9.23 ~ 9.26	宮古市民文化会館 (岩手県宮古市)	田村一行
12.16 ~ 12.19	野々市市情報交流館カメラシア (石川県野々市市)	藤田善宏
2.3 ~ 2.6	酒田市民会館 希望ホール (山形県酒田市)	中村容
2.9 ~ 2.12	荘銀タクト鶴岡 (山形県鶴岡市)	長井里奈
3.2 ~ 3.5	小牧市市民会館 (愛知県小牧市)	長井里奈
3.2 ~ 3.5	藍住町総合文化ホール (徳島県藍住町)	セノグラフィカ

申込方法 申込締切 7月9日(金) 必着

実施要綱をご覧いただき、事業申込書に必要事項をご記入の上、郵送にてお申し込みください。
実施要綱及び各様式等は財団 HP よりダウンロードしてください。
<https://www.jafra.or.jp/project/dance/01.html>
※プログラムによって様式が異なりますのでご注意ください。



●申込・問い合わせ先
一般財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業担当 (担当: 児島・畑)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階
Tel:03-5573-4077・4075 Fax:03-5573-4060 E-mail:dankatsu@jafra.or.jp

ダン活

公共ホール現代ダンス活性化事業

令和4年度
募集

過去にダン活事業を実施した団体も対象になります

申込締切 令和3年7月9日(金) 必着

「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」は、コンテンポラリーダンスのアーティストとコーディネーターを地域に派遣し、アーティストとホールが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。
この事業には3つのプログラムがあり、地域の特性を生かした取り組みについて段階的に支援を受けることができるのが特徴です。
地域創造では、本事業を通じて公共ホールの利活用と地域の活性化、地域の文化事業の担い手の育成を支援しています。



Aプログラム
(地域交流プログラム)
学校や福祉施設等でのアウトリーチ
+
公募ワークショップ

Bプログラム
(市民参加作品創作プログラム)
公募ワークショップ
+
市民参加作品を創作して上演

Cプログラム
(公演プログラム)
公募ワークショップ
+
レパートリー作品の上演
(リ・クリエイション作品含)

ダン活 公共ホール現代ダンス活性化事業について

「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」は、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家であるコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラム（アウトリーチ等）や公演を実施する事業です。各ホールのダンス事業のビジョンに基づき、3つのプログラムを各年度で段階的に選択し、継続的に事業を実施することができます。

対象団体

- 過去にダン活事業を実施した団体も対象になります（実施要綱をご覧ください）
- ① 地方公共団体
 - ② 地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体
 - ③ 地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設置された、公益財団法人等（②を除く）のうち、地方公共団体が資本金、基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めるもの。

事業内容

- ① A・B・Cプログラムのうちいずれかのプログラムを実施します。
- ② 今後のダンス事業を実施するためのビジョンに基づいてプログラムを選択できます。
- ③ 翌年度以降に他のプログラムを継続して実施することが可能です。

A プログラム（地域交流プログラム）

原則として、4日間でアウトリーチと公募ワークショップ（計4～6回）を実施します。

アウトリーチ（3回以上）



公募ワークショップ（1回以上）

B プログラム（市民参加作品創作プログラム）

原則として、全9日間の事業日程を3日間+6日間などの2回に分けてクリエーションワークショップを重ね、市民参加作品を創作・上演します。

公募ワークショップ（1回）



有料公演（1回）

C プログラム（公演プログラム）

原則として、4日間でアーティストのレパートリー作品（リ・クリエーション作品含む）を上演します。

公募ワークショップ（1回）



有料公演（1回）

※各プログラムでは、登録アーティスト・コーディネーター等による個別研修（現地見）を行い、事業の打合せや会場の下見などを行います。

※B・Cプログラムの入場料収入は実施団体に帰属します。



A 白河文化交流館コメニス（田畑真希／幼稚園でのアウトリーチ）



B くにたち市民芸術小ホール（東野祥子／『ENDSCAPES』クリエーション）



C 上田市交流文化芸術センター（北尾昌／公募ワークショップ）



A 宮古市民文化会館（北尾昌／保育所でのアウトリーチ）



B 半田市福祉文化会館（田畑真希／『ハンダ大家楽』）



C ながす未来館（田村一行／舞踏 長洲風土記『ヒメゴトキンギョ』）



A 荘銀タクト鶴岡（セレノグラフィカ／公募ワークショップ）



B 土佐清水市立市民文化会館（赤丸倉上／『太陽と月と奇跡の子ども達』）



C 西宮市文化芸術振興局（フレンドホール）（東野祥子／Antibodies Collective 公演『DUGONG』）

<事業実施例>

全9日間の事業日程で実施が可能

1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	打合せ	クリエーション			仕込み	仕込み	リハ	ゲネ
移動	クリエーション	移動	移動	クリエーション	クリエーション	クリエーション		公演
公募ワークショップ			クリエーション					
3日間			3日間			6日間		

1日目	2日目	3日目	4日目
	仕込み	リハ	ゲネ
移動			公演
公募ワークショップ	リハ	通し	
4日間			

経費負担

以下の経費を地域創造が負担します。

●登録アーティスト等派遣経費

- 地域創造から登録アーティスト等へ直接支払います。
- 交通費は現地移動費を除きます。

	A プログラム	B プログラム	C プログラム
登録アーティスト	出演料等・交通費・宿泊費・日当・損害保険料 ※個別研修（現地見）含		
アシスタント*1	謝金・交通費・宿泊費・日当・損害保険料		
クリエイションのためのアシスタント（共演者）*2		出演料等・交通費・宿泊費・日当・損害保険料	
共演者*2			出演料等・交通費・宿泊費・日当・損害保険料
テクニカルスタッフ等*3		謝金・交通費・宿泊費・日当・損害保険料	※個別研修（現地見）含

*1 登録アーティストがソロの場合1名が対象

*2 登録アーティストがソロの場合は2名までが対象

*3 公演準備のサポート役として必要と判断されるテクニカルスタッフ、演出助手や制作者及びその他地域創造が認めた者で1名が対象

●公演負担金（BおよびCプログラム）

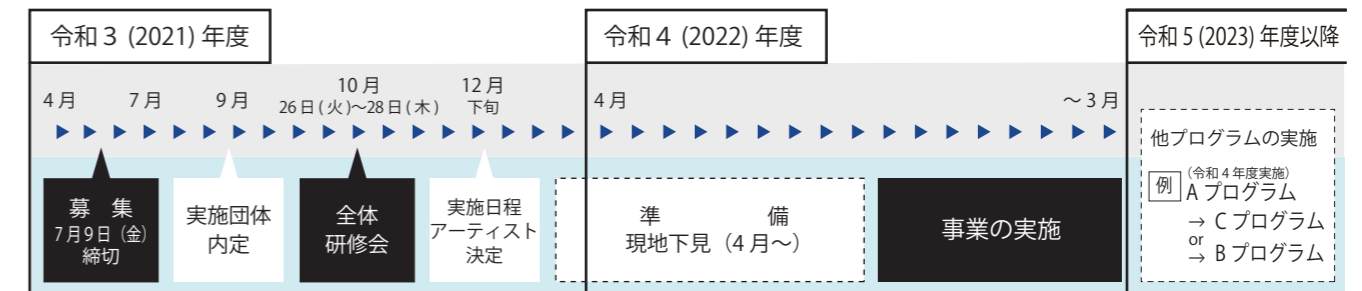
実施団体が支出した事業実施に係る経費のうち、対象経費の2/3以内で、50万円を上限に実施団体に対して負担します。対象経費は実施要綱をご覧ください。

ホールが負担する経費

ダン活事業の内容を超えて事業を行った場合に発生する経費、現地移動費、照明等オペレーター、仕込・撤収に必要な現地スタッフ経費、広報宣伝費（チラシ・ポスター・チケット作成費など）、著作権使用料、全体研修会参加旅費など
※実施するプログラムによって負担する経費が異なります。

ダン活の流れ

事業の企画から実施までを、コーディネーターの派遣や全体研修会（事業実施前年度）の実施などでサポートします。



全体研修会

ダン活事業についての理解を深めるために、実施団体の担当者は全体研修会に参加していただけます。研修会では、ダンス事業の企画・制作のノウハウを学び、登録アーティストによるプレゼンテーションをみてアーティストを希望します。（Aプログラムはアーティストを希望できません）

ダン活実施後

公共ホール現代ダンス活性化支援事業

ダン活を実施した対象となる団体が引き続き同様の事業を継続して実施する場合に、財政的な支援を行う事業です。